

## 令和6年度北海道産業貢献賞(農業関係功労者)表彰式



北海道産業貢献賞授賞式：令和7年2月12日



- 中山間枝幸集落北海道産業貢献賞受賞
- 家の光全国大会「家の光会長賞」受賞
- 青年部新年交流会／第16回通常総会
- 女性部新年交流会／第16回通常総会
- 新規就農者及び就農希望者と  
系統機関との意見交換会
- 農業地域協議会会長会議開催
- 第11回・12回・13回理事会議案等
- JA宗谷南新年交礼会開催
- 東野ひでき氏枝幸町巡回訪問

- 「東亜総研主催」雄武・枝幸・浜頓別  
技能実習生等交流会の実施
- JAグループ北海道農政活動  
強化に向けて(第7回)
- 就農対策支援室だより
- JAの存在意義を考えるシリーズ
- 歳末助け合い運動乳製品セット贈呈
- お隣の物置小屋の屋根から春の気配
- 枝幸町農業法人会通常総会
- 酪農合同講習会開催

# 令和6年度 北海道産業貢献賞受賞 「中山間枝幸集落(代表:下山勲氏)」

北海道農政部は1月27日、令和6年度北海道産業貢献賞（農業関係功労者）の受賞者を発表した。永年にわたり道内の農業・農村の振興・発展に貢献したとして、36人、2社、2団体を選出した。

その中で、当町からは、農業・農村振興功労者として、

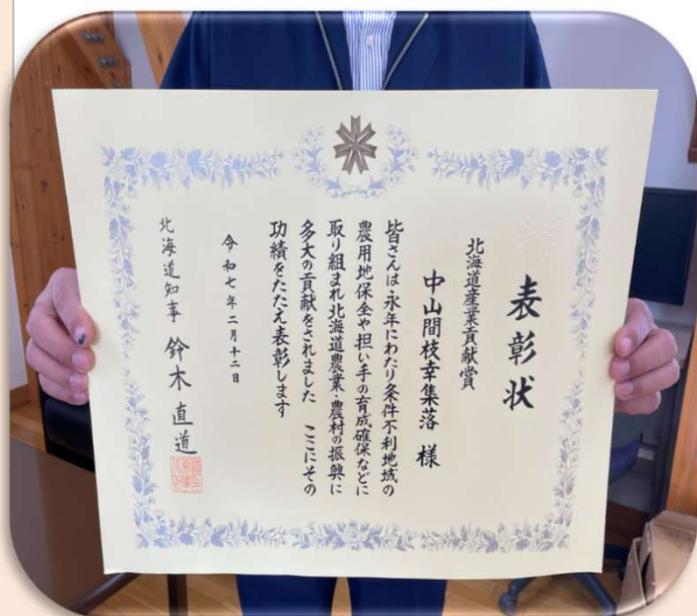
「中山間枝幸集落（代表 下山勲）」氏が受賞となりました。

その功績は、5期対策において、協定面積7,179ha、協定参加者99名で地域農業発展のために活動している。平成12年から旧枝幸集落、旧歌登集落として第1期から活動しており、第4期の開始期である平成27年度から両集落が統合し、「新」枝幸集落となった。

今までの共同取組活動として集落構成員による農道、水路等の維持管理のほか、第2期では町内小学生を対象とした酪農体験、特定外来種であるウチダザリガニの駆除、研修宿泊施設整備による担い手の育成確保及び公共育成牧場での育成牛預託システムの確立に取組み、第2期から第3期において農作業受託組織の設立支援を行い、人口不足及び高齢化、規模拡大に伴う労働力不足対応の取組みを行った。

第4期では、枝幸町内の旧枝幸集落、旧歌登集落が連携して広域協定を締結し、農作業受託組織の作業エリアの拡大や新規就農者支援として関係機関と連携し、枝幸町独自で就農イベントを開催するなど担い手不足解消の強化を行っているほか、全国的にも農業被害が甚大な特定外来種であるアライグマ駆除の支援を現在も行っている。

現在5期では、新型コロナウイルスにより活動制限があった中、地域計画及び集落戦略の作成に取組を行いつつ、就農者誘致活動の強化、RTK（リアルタイムキネマティックシステム）の酪農業での活用実証を行うなど、地域の課題である人口減少及び高齢化等による労働力不足の対策及び担い手不足対策を行うなど、地域農業・農村の振興、地域全体で取組むべき課題の解決に多大な貢献を果たしている。





# 「大塚真央」さん 家の光全国大会 「家の光会長賞」 受賞おめでとう!



家の光協会は、2月13日「家の光」創刊100周年記念第66回全国家の光大会」を2000人の参加のもと横浜市で開催された。

この全国大会には、前回号で紹介しました当JA宗谷南女性部「大塚真央」さんが北海道大会で最優秀賞を受賞し見事全国大会へ出場することとなりました。

大塚さんは、記事活用部で各都道府県代表47人が出場する中で「私の支え」と題し発表しました。

自分は、農業とは全く無縁の家庭環境で育ったが、縁があり嫁いできた先が酪農家となり生活が一変し、農業の農の字も知らない中でのスタートでしたがその中で出会ったのが「家の光」と「女性部活動」という2つ面で支えられ事を題材に子供たちが喜んだことなど数々の家の光にアイデアを頂き育児に一喜一憂出来た思い出が貴重な時間となった事と女性部の活動に参加し、諸先輩、同年代との交流の中で「こんな酪農女性になりたい」と目指す先が見つかり、活動内容や地域活動を積極的に思考し子供たちとともに料理を作るイベントなど開催し、少ない部員たちと如何に盛り上げていけるのかを家の光にヒントをもらいながらこれからも、地域や女性部に貢献できるように、また、立派な農業女性になれるように日々努力していきたいと締めくくりました。

この記事活用部門では、和歌山県代表JAありだの川瀬彰子さんが最優秀賞を受賞しました。



上：発表順の抽選番号を手に

下左：家の光会長賞受賞

下右：宗谷管内からの応援団



## 【青年部新年交流会】

宗谷南農協青年部は、1月30日町内の食事処で新年交流会を行った。久しぶりに会う部員たちは、今年の抱負などを話しながら大いに盛り上がり夕方の搾乳に合わせてお開きとなりました。



高橋部長挨拶



浜田参事来賓挨拶



後藤副部长乾杯



現在役員



部長挨拶



組合長祝辞

## 《第16回青年部通常総会》

宗谷南農協青年部は、3月25日酪農振興センターで、本人出席13名委任状1名合計14名の出席により第16回通常総会を開催しました。

向井地組合長が祝辞の中で、今回の乳価交渉の経緯や、要請活動や、農協の意義、今夏の参議院選挙のことなど話されました。

議案は事業報告・収支決算、事業計画・収支予算書、会費の徴収方法、役員を選任の4議案を原案通り承認された。

任期満了に伴う新役員は、**部長山崎紀幸氏、副部长後藤亮介氏・佐藤良介氏、理事有吉里生氏・戸澤慧氏、監事高橋慶大氏・榊原孟氏**の7名が選任され新体制となった。

## 【女性部新年交流会】

宗谷南農協女性部は、1月20日酪農振興センターで新年交流会を行った。部員たちは、新年の挨拶を交わしながらオードブルに舌鼓を打ち、2025談議に花を咲かせ夕方の搾乳に合わせてお開きとなりました。



現在役員



## 《第16回女性部通常総会》

宗谷南農協女性部は、3月10日酪農振興センターで、本人出席15名委任状3名合計18名の出席により第16回通常総会を開催しました。

来賓には、向井地組合長とよつ葉宗谷工場佐藤工場長と清水課長が招かれ向井地組合長が祝辞の中で、今回の乳価交渉の経緯や、要請活動や、農協の意義、今夏の参議院選挙のことなど話されました。

議案は規約の変更、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算書、会費の徴収方法、役員の変更の5議案を原案通り承認された。

任期満了に伴う新役員は、**部長樋口睦美さん、副部长山崎美和子さん、理事菊池静子さん、監事戸澤宏美さん・中野智美さん**の5名が選任され新体制となった。



組合長祝辞



議長の中野明美さん



# 新規就農者及び就農希望者と 系統機関との意見交換会

3月12日ホテルニュー幸林にて系統機関から中央会稚内事務所の「田中調査役」と、ホクレン稚内支所の「近藤支所長、大山次長」を交えての意見交換会を7年ぶりに開催しました。

今回は、平成20年以降14組の方が新たに枝幸町に就農されておりますが、今回10組の就農者と4組の就農希望者の方々に出席して頂き、就農してからの苦労や就農するにあたっての不安や悩み事など忌憚のないご意見を頂ければとのことからの開催趣旨です。

開会にあたり向井地組合長から就農者に対し、酪農家にとって非常に厳しい状況であるが、この世界に飛び込んだ勇氣に感銘していますと述べ、また、この世界にまさに今飛び込もうとしている希望者については、夢を実現させるべく支援しますと挨拶された。

「就農して感じたことは、ある程度は搾らないとやっていけないと感じている。」「就農時の分娩の集中は大変で妻には感謝している。一人では厳しいと感じた。」「会社勤めを辞める時に、酪農を始めることに羨ましいと言われた。子供には何でもっと早くやらなかったのと言われた。」「等々の経験からの意見等が多く出されました。

中央会、ホクレンからは、事業内容の説明がされ、共に支援活動を重要視していることを説明しました。

途中、昼食を食べながらそれぞれ隣同士、夢などを語り合いながら楽しい時を過ごしました。

最後に組合長からは、「子供に継がせられる、子供が継ぎたくなるような酪農経営を目指して下さい」と締めくくりました。



## 第1回農業地域協議会 会長会議開催

2月27日、本所会議室において、第1回農業地域協議会会長会議が開催されました。9協議会で構成されている会長会議は協議会会長が全員出席のもと令和7年度におけるJA行事の確認とJA役員改選に伴う役員選任地域推薦会議の説明について協議致しました。

各行事については、5月2日の「組合員懇談会」を皮切りに5月23日「通常総会」、7月下旬予定の「組合員親睦交流会」、8月中下旬予定の「枝幸町就農者誘致促進セミナー」として、「協議会会長視察研修」と行事について協議致しました。続いて、役員改選に関する「地域推薦会議」の説明が行われ、地域推薦会議の委員は会長が務める事となるなどの他、今後の役員改選のスケジュールなどが協議されました。



## 第11回理事会 開催日:令和6年12月26日

### 【決議事項】

1. 災害対策計画（BCP等）の改正について
2. 出資金減口の承認について
3. 出資金持分譲渡の承認について
4. 令和6年度クミカン精算見込について
5. 令和7年度営農計画設定契約について
6. 理事のクミカン取引金額について
7. 収支予測結果の中央会への報告について
8. 固定資産の売却について
9. 資金の貸付について
10. (株)アグリサポート枝幸「ファームAYNI」の  
営農計画設定について

### 【監査関連報告事項】

1. 第3四半期監事監査報告について

### 【報告事項】

1. 9月末マネロン対策取組状況（半期分）について
2. 理事のクミカン供給限度額の変更報告について
3. (株)アグリサポート枝幸第3四半期実績報告について
4. 組合員の異動状況について
5. 11月末各部署取扱高及び実績報告について
6. 貸付金実行報告について
7. 令和6年度決算見込（11月末基準）について



## 第12回理事会 開催日:令和7年1月28日

### 【決議事項】

1. 役員候補者地区割について
2. 信用事業方法書の改正について
3. コンプライアンス・マニュアルの改正について
4. 令和7年度内部監査計画について
5. 令和7年度営農計画設定契約について
6. 理事に対する短期資金の貸付条件に係る  
包括事前承認について
7. (株)アグリサポート枝幸の事業計画の設定について

### 【協議事項】

1. 第1回業務委員会協議案件について

### 【監査関連報告事項】

1. 内部監査報告について

### 【報告事項】

1. 組合員の異動状況について
2. 令和6年度営農取引精算実績について
3. 令和7年度クミカン取引に対する保証について
4. 令和7年度クミカン取引に対する理事の保証について
5. 12月末各部署取扱高及び実績報告について
6. 令和6年度決算見込（12月末基準）について

【決議事項】

1. 組織機構の改革について
2. 役員推薦会議運営要領の改正について
3. 令和7年度利率・料率・料金の設定について
4. 信用供与等の最高限度額の設定について
5. 貸付金利率の最高限度の設定について
6. 令和6年度剰余金処分方針について
7. 余裕金運用方針及び運用方法について

【協議事項】

1. 開業授精師への対応について

【報告事項】

1. 北海道農業信用基金協会代位弁済による債権回収及び特別出資金の拠出について
2. 北海道信連への出資増口について
3. 令和7年度クミカン取引に対する保証について
4. 令和7年度クミカン取引に対する理事の保証について
5. 1月末各部署取扱高及び実績報告について
6. 貸付金実行報告について
7. 令和6年度決算見込（1月末基準）について

令和6年度最後の理事会です。

役員の皆様お疲れさまでした。



## JA宗谷南新年交礼会開催

令和7年1月6日仕事始めの日の業務終了後、ニュー幸林にて役員、職員が一堂に集い新年交礼会を開催しました。当日は役員と職員合わせて50名が出席し、それぞれ思い思いに今年の抱負などを語り合いながら新年度に向けてのスタートとなりました。

向井地組合長の開催挨拶では、昨年の業務のお礼と、今年の酪農情勢の見通し、また参議院選挙の事にも触れた中で、今年も昨年と同様に業務に精進して頂きたいと話されていました。

続いて下山組合長代行による「今年も頑張りましょう」と乾杯の発声により会が始まり料理に舌鼓をうち、また当日は、三好道議も駆けつけ昨年のお礼と新年の挨拶を頂きました。

余興では、職員互助会による抽選会が行われ番号が発表される度に一喜一憂しながら大いに盛り上がりを見せていました。

最後は、小野寺理事による「今年も健康に」と、一丁締めにて令和7年新年交礼会がお開きとなりました。

組合長挨拶



下山理事  
乾杯



三好道議  
挨拶



抽選会



小野寺理事  
締め



# 〈東野ひでき氏〉枝幸町巡回訪問



3月25日「東野ひでき」氏本人が、枝幸町内に入りました。本人の枝幸入りは2度目となりますが、現在全国行脚中のため次回の枝幸入りは、厳しいかと思われます。

当日は、枝幸町の各企業等への訪問を主体に巡回させて頂きましたが、1時間半の滞在中、どの訪問先も快く迎えて頂き本人も大変喜んでおりました。

東野候補から、「昨年3月に参議院議員候補として推薦され1年が経ちましたが、この1年で全国506ある総合JAのうち450の総合JAを訪問し、また専門JA、連合会等を含めると850もの関係団体を訪問させて頂き、色々な意見を拝聴し今後の農政活動に邁進する覚悟しております。

これからは、より以上に持続可能な農業、すなわち稼げる農業を謳い、北海道が誇る「食」と「デジタル」「グリーン」を融合させ確かな未来を拓くために臨んでまいります。」と、JAで挨拶され枝幸町を後にしました。

参議院選挙は7月を予定されています。残り3か月となっていますが、皆さまがたから応援頂いた【ひできのなかまづくり報告書】に手ごたえを感じつつかみつつ残りの期間についてもご理解とお力添えをお願い申し上げます。



東亜総研北見人材は、3月23日ホテルニュー幸林において、雄武・枝幸・浜頓別地区にて雇用している技能実習生等と雇用者たちを招き交流会を開催しました。

当日、雄武共栄ファームから3名、枝幸ファームAYNーから4名、浜頓別太陽ファームから2名の9名の技能実習生等が集まり異国の地「ベトナム」から日本に来て、一生懸命家族のために働き送りもしながらの毎日の中、この度の交流会で仕事の合間のほんのひとときを食事やゲームなど行い親睦を深めました。

下の写真の右側は、食事風景です。それぞれ個人ごとに食事が配られ、隣同士でおかずの交換などしていました。結構刺身を食べられるようになってました。また、真ん中の写真は、ビンゴゲームが行われ、なんと我がファームAYNーが1位から3位まで独占し、お米が当たった女子2人は大変喜び、ビールが当たった彼は、その場で男性陣に配り飲んで盛り上がっていました。そして左の写真は、全員での記念写真を撮りお開きとなりました。

一 東亜総研主催

雄武 枝幸 浜頓別地区

技能実習生等受入企業

交流会の実施



# JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

## 第7回「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そのため、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

### 重要な当選順位

参議院選挙の比例代表には、様々な業界や団体が代表候補を送り出し、いかに多くの票数を獲得し、当選順位を上げるかということにどの団体も惜しみなく努力しています。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。

### 過去の参議院選挙(比例代表)

2019年の自民党の比例代表の得票数順位を見てみると、第1位は郵政グループで60万票獲得しており、JAグループは約21万票でした。結果、郵政グループは悲願だった「貯金預入限度額の拡大」を実現しています。一方、JAグループの得票数は2022年の選挙の際には18万票まで減少してしまい、このままでは私たちJAグループの声、要望を実現することが困難になる危機的状況に陥ることになります。

### 問われる組織力

このように選挙の結果、業界や団体ごとの得票数がわかります。市町村別にも得票数が公表されます。この得票数によって我々JAグループの力が測られることとなります。つまり、参議院選挙(比例代表)は、我が国の農業、JAグループのための組織選挙であります。

### 組織力の結集を!

多くの得票数を得て高い順位で当選した候補者は、政府・与党内での発言力が増し、政策の実現可能性が高まります。過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(最終回)は、「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について報告します。

郵政グループとJAグループ得票数の推移



自民党 全国比例区 得票数順位(2019年)

団体・業界	得票数	議員名
1. 郵政	60万票	栢瀬芳文
2. (漫画など)	54万票	山田太郎
4. 防衛関係	24万票	佐藤正久
5. 建設	23万票	佐藤信秋
7. JA	21万票	山田俊男

※2022年 18万票 藤木しんや



東野ひでき公式  
LINEアカウントへの  
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会



2024/10/8 北海道就農フェア  
着席者等との夕食



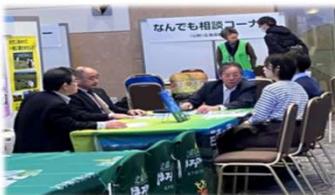
2025/2/15 マイナビ東京会場



2025/3/8 北海道就農フェア



2025/3/8 北海道就農フェア  
着席者等との夕食



2025/3/8 組合長面談

《就農対策支援室だより》

当組合、就農対策支援室は、新設し1年が経ちました。その間、マイナビ農林水産フェスト(東京・大阪会場)や北海道新規就農フェアなど枝幸町農業推進連絡協議会として年間8回ほど出展して来ました。

枝幸町のブースには、延べ30名程が着席しましたが、なかなか即就農とまで行かないのが現状ですが、数回フェア等で面談していく中で就農に結び付けたいのかなど、思っています。

今では、外国人も農業に興味があり、台湾夫婦、イギリス出身者やメキシコ出身者と、国際色豊かにバラエティに富んでいます。実際に昨年12月と1月に枝幸町の冬を体験し、酪農施設等の視察にも訪れました。

また、フェアのみならず町内の酪農家などを通じて就農したいと訪れる方もいらっしゃいます。

今年度もフェア等に出展し、農業に興味を持っている方たちに農業の良さを伝えて、就農に向けて進めて参りたいと思います。

## JAの存在意義を考えるシリーズ 第6回 「北海道米の「とも補償」」

6回にわたってJAの存在意義について掲載しましたが、この回をもちまして最後となります。

現在でこそ、食味ランキングで「特A」に評価される北海道米であるが、1980（昭和55）年、北海道稲作の存続をかけた組織決定がなされた。

1979（昭和54）年秋の政府米の在庫は650万トンに達し、その相当部分を北海道米が占めていた。「ヤッカイドウ米」と揶揄され、大幅な転作面積の傾斜配分（全国平均16%、本道44%）を受入ざるを得ない状況であった。府県では1969（昭和44）年から「ササニシキ」「コシヒカリ」を中心に自主流通米へと移行が進み、転作緩和要求が増す中、このままの政府米生産依存ではさらなる転作面積拡大は必至であり、食糧管理制度による全量政府買取制度が存続するなかであっても、自主流通の取り組みが不可避となっていた。

当時の北海道米は、政府買入価格を超える水準での販売は見込めない状況であったが、北海道農協米対策本部は、「座して死を待つより、攻めて活路を見出す」と決意のなか、食味面では低評価であるが低コストを生かした販売展開を図るべく、政府買入価格を下回る部分を生産者自らが負担金200円/俵（とも補償）を拠出し補填する“特別自主流通米”の取り組みを決定した。



## 「社会福祉協議会

歳末たすけあい運動」

生活困窮世帯26世帯へ

乳製品セット贈る



当組合では、1月中旬に枝幸町社会福祉協議会の歳末たすけあい運動とのコラボとして上記写真の通りの乳製品セットを消費拡大にも繋がる思いでプレゼントした。

この運動の主旨に賛同した組合が、今冬の対象世帯枝幸・歌登両地区合わせて26世帯に届けたものです。



♪春うらら♪で屋根の雪が落ちた一瞬です。（春は間近！！）



# 《枝幸町農業法人会通常総会》

枝幸町農業法人会（会長吉田ファーム(有)代表取締役吉田明彦ほか8法人）は、3月26日町内の食事処味丸にて午後7時より通常総会を開催しました。

会員9法人は全員の出席により2024年度事業報告、収支決算、また2025年度事業計画、収支予算案、年会費の徴収方法、事務局についてと、4議案すべて承認可決された。

その中で、法人会全体で乳量前年比5%の増産を目標に四半期ごとに進捗状況報告会を実施すること。また労働力不足の補完策として『ジョブキタ』への積極的に参加することが満場一致で承認された。

議案4号の事務局については、今までJAが事務局を担当していたが2025年からは、法人会の中で事務局を持つ事となった。



## 宗谷南乳質改善協議会 宗谷南乳牛検定組合 合同酪農講習会

宗谷南乳質改善協議会と宗谷南乳牛検定組合による合同酪農講習会が3月17日酪農振興センターにおいて行われました。

この合同講習会は、コロナ禍期間は除いて毎年行っているもので、今回は、宗谷家畜保健衛生所の長尾主査を講師にお招きし『最近話題になった家畜伝染病について』と題し1時間に亘って講義頂きました。

当日は、組合員、関係者合わせて16名の出席の中、伝染病の3つの発生要因として、感受性宿主、感染経路、病原体があげられ、それを防ぐためには、「家畜の健康管理」「感染経路の遮断」「病原体の排除」が必要であると、唱えました。当日は、現に主流とされている「口蹄疫」「ヨーネ病」「ランピースキン病」「牛のサルモネラ症」「牛伝染性リンパ腫」「牛ウイルス性下痢」の6つの伝染病について一つ一つ症例を挙げながら予防法などの対策まで丁寧に説明されました。

町内でもサルモネラ症の発症が近年見られましたが飼養管理、環境対策の徹底を図り良質乳出荷、乳量増産に努めて頂きたいと思えます。



枝幸町下幌別の農地に丹頂鶴のつがい飛来しました。何年か前もこの下幌別につがい飛来し翌年には、家族3羽で来鳥しました。まさかその時の子ども？がパートナーを連れてまたこの地に舞い降りたのでは？とふと思いました。



《07.04.17撮影》

お詫び：撮影者は、つるなど撮影したこともなく、上手く撮ることが出来ませんでした。と、猛省!



# AGRIACTION! RADIO

アグリアクションレディオ

**AIR G**

80.4 FM HOKKAIDO

毎週水曜日 12:30～12:55

令和7年1月1日(水)放送開始



パーソナリティー  
シンガーソングライター  
浅井未歩

- ・JAグループ北海道  
スペシャルサポーター
- ・北海道観光大使



アグリアクションHP

食べよう!

話そう!

体験しよう!

ACTION



AGRI  
ACTION

REACTION



- ※ 上記、ラジオ放送「AIR G 80.4 FM HOKKAIDO」については、枝幸・歌登地区では受信出来ないため視聴できません。誠に申し訳ございません。
- ※ この、AGRIACTIONは先のJA北海道大会における議案第3号「農業・食・JAへの理解醸成」として提案した「AGRIACTION! HOKKAIDO」となっております。